

ぎり笑セレクション

【藤元達弥/弁護士】
不倫の慰謝料の相場、黙秘権の重要性、離婚時の財産分与、保釈金の相場などを、ギター弾き語り形式で披露。

【こたけ正義感/弁護士】
おかしな食品表示基準、やや難解な育児休業明けの健康保険法などを、フリップ形式で披露。

【マシガンズ/滝沢/ゴミ漁場】
ピザの箱、可燃ゴミ9割ルールなどを漫才で披露。

【ドロン石田/僧侶】
宗派によって異なる情香の回数ややり方、その意味を漫才で披露。

【ドロン安田/評論家】
パルーン祭、海洋歌舞など、さまざまな理容方法があることを漫才で披露。

ぎり笑収録現場



芸人としては新人の藤元弁護士、緊張で目がパキパキになることもしばしば

複数台カメラで専門職芸人たちのネタをたっぷり



藤元達弥
現役弁護士/
シンガーソングライター芸人

profile & memo

1981年生まれ、広島県福山市出身。タイタンの学校7期生。新宿で法律事務所を経営。弁護士業と共に音楽のライブ活動も。自作曲は80曲超え。アルバム4枚を制作。

★写真や映像からはナゾに伝わりづらいが実は身長188cmあるんです!!

ぎりぎりをせめるので
続くだけやります
法律お笑い

月曜のヨルは「ぎり笑」の日!

声の出演:
太田光



専門職を持つ芸人のネタで法律やルールが学べる番組
今年10月からスタートした話題のミニ番組。弁護士、僧侶、表裏業、IT/清掃員といった専門職に就きながらお笑い芸人としても活動する「専門職芸人」が、各業界のルールやしきたりを題材に、それぞれの面白いスタイルでネタを披露する。ナレーションを務める爆笑同業・太田光によるネタへのひと言講評も見どころの一つ。タイタンからは、今年、所属したばかりの現役弁護士、シンガーソングライター芸人の藤元達弥が出演中。ぎりぎりな法律知識をフォークソング調のメロディーにのせて、ときに愛しく、ときに切なく、熱唱している。要注目。

【放送時間】毎週 21:54~22:00 フジテレビ(関東ローカル)※Tverでも配信
【CAST】声の出演/太田光 出演/こたけ正義感 ドロン 藤元達弥 マシガンズほか(五十音順)
【STAFF】プロデューサー/今野貴之 太田一平 演出/吉村豊介 ディレクター/森山泉央子
タイトルデザイン/貝塚智子(ユーフラテス) 音楽/イトケン イラスト/八重樫王明
構成/ピル山崎 企画/さ大臣 324 美術/悠介(タイタン) 制作協力/共同テレビジョン

ぎり笑企画者

さ大臣 主な代表作

- 【テレビ番組】『ぎりぎりをせめるので 続くだけやります法律お笑い』『爆チュー問題』『空飛ぶ爆チュー問題』
- 【歌】『でたらめな歌』『でたらめ体操第一』 ほか多数

実は、「さ大臣」というのは...

クリエティブディレクター
佐藤雅彦

【ほかの主な代表作】

- テレビCM 「トヨタスバシオ(爆笑問題ナレーション)」「パザール(爆笑問題)」「ポリンキー」「スコーン・ドロン」
- タコス「サントリーモルツ」「伍紅茶」
- 「カラーIIに乗って」など
- テレビ番組 「Jタカラスイッチ」「0655/2355」「爆チュー問題」
- 歌 「だんご兄弟」
- ゲーム 「プレイステーションソフト「Y.O.U」
- 書籍 「プチ哲学」『解きたくなくなる数学』
- 『経済学ってなに?』(ことだったのか会議)
- 『もぐらバス』『ピタゴラ装置DVDブック』など
- 映画 「Kindo」 カンヌ国際映画祭招待上映作品 「八芳園」 「ちやんを」 など
- 映像作品 「ハベネッセ」 『通常に潜む数理論曲』
- 藤元達弥(藤元達弥) 『「Y.O.U」』
- 「マイケル」(藤元達弥) 『「Y.O.U」』
- 日本オムニバスCD 『「Y.O.U」』
- 「Shadow as Athletes」

佐藤雅彦の
そうじい(じい)とか
オンライン講義付き
新聞

毎月第1・第3木曜日に新作配信
慶應大学SFCの名物講義(映像たっぷり)も毎月ライブ配信



くわしくは!

このQRコードからどうぞ!

『怪獣ヤロウ!』

1月24日 岐阜県先行公開
1月31日 全国公開

監修 八木順一朗 監 園くんぴい
脚本 菅井友香 手塚とおる
三戸なつめ 平山浩行 田中要次
嵐赤見 清水ミチコ ほか

岐阜県関市×怪獣×バキ童
前代未聞のご当地映画

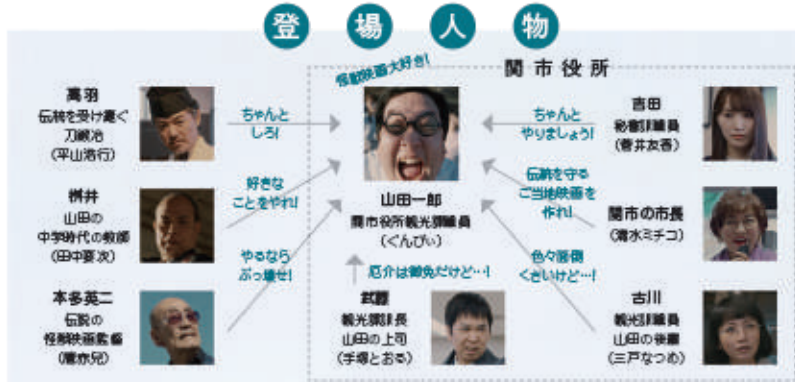
岐阜県関市を舞台に、ポンコツ市役所職員が市を盛り上げるためのご当地映画作りを奔走する。監督は岐阜県出身でタイタンのマネージャー業と映像制作業を行う八木順一朗。主演は YouTube「バキ童チャンネル」の登録者数170万人超えのくんぴい(巻とヒコーキ)。

STORY / 岐阜県関市役所の観光課職員(山田くんぴい)は、市長(清水)からご当地映画の制作を命じられる。市長が推奨する凡庸な内容に疑問を抱いた山田は、夢だった怪獣映画の製作を思いつく。失敗ばかりのダメな自分を変えるため、バツが悪い故郷を変えるため、怪獣で全部をぶっ壊す。だが、その想いは市政を巻き込む大事件へと発展。果たして、山田の怪獣映画は完成するのか?

関市の魅力

世界三大刃物産地の一つと呼ばれ、多くの刃物メーカーが存在する。ほか、伝統的な長良川の橋脚にも有名で、これら関市の特産物は、巻中、山田が手掛ける怪獣映画に登場。どのように使われるのか、見どころの一つ。

©チーム「怪獣ヤロウ」



八木順一朗監督コメント

1988年生まれ、岐阜県出身
日本美術大学映像学科監督コース卒

本作撮影を経て、以前のくんぴい像と変わった点について、シンプルに、くんぴいの「面白さ」に気がされました。狂った表情の作り方、寝る声の出し方、五感を揺さぶる体の動きが...。こちらが想像してなかった面白さの引き出しがドンドン出てきて、監督としても、マネージャーとしても、くんぴいの面白さを改めて思い知らされた気がします。

お気に入りのくんぴい出演シーンについて、物語中盤、自分の夢が叶えようになった時の「叫び」が大好きです。人間が心に抱える、苦しみ・楽しみ・喜びをすべて表現していると思います。あの場面のくんぴいは、神がかっていました!

怪獣映画やヒーローもの、数々のこだわりが映画に取り込まれている中、特に注目してほしいのが山田くんぴいについて、怪獣の鳴き声です。怪獣映画の金文字「ゴジラ」は、コントラ・バスの音に動物の鳴き声を重ねて作られました。それと同様、本作の怪獣の鳴き声も、さまざまな音をミックスさせて作りました。何からできた鳴き声なのか、ぜひ聞いてみてください!

怪獣映画を撮る夢を果たされた今、次なる夢について、やはり「怪獣ヤロウ2」を作ることです。頭の中では「怪獣ヤロウ15」まで出来ているので、お届けできるよう全力で頑張りたいと思います!



ほぼ国民的 バキ童ことくんぴいが映画初主演しちゃった記念 interview

Q.主演映画の話が来たときの反応

お断りしました。主演映画なんてやれるタマじゃないです...と。ただ、何度かご説いたいただき、怪獣映画も好きなので出演させていただくことに。松井秀喜さんがゴジラ映画に出演した際の演技が凄まじく松井秀喜さんそのままのことを思い出し、勇気をもらいました!

Q.作品に臨むにあたり 八木監督からの要望

太田光代社長からダイエット指令を受けていましたが、監督からは「あまり痩せすぎないでください」と言われました。忠実に従いました。

Q.八木監督からの演技指導

「もっとバキッと! テンション上げてイカれてください」とよく言われました。夢が叶うかもしれない瞬間は爆発的にテンションが上がるもの(監督がまさにそうなので)。バカになれないと夢は追えない!



Q.共演者との思い出エピソード

怖すぎるオジさん・庵原さんが信じられないくらい優しく。怖い声で「コントみました...とても面白かったです...」と、伝えてくださいました。手塚とおるさんは、ロケには手をつけず、エナドリしか飲まない方。必ずロケ弁を譲ってくれました。正直なところ菅井友香さん、三戸なつめさんとのロマンスを期待しましたが、本当に何も起きませんでした...

Q.関市の思い出

バリバリに焼くうなぎ。美味すぎ! 関市の方言は関西弁の字面だが、イントネーションは関東。難しい。朝ドラでよく方言に怒っている人がいるイメージなので、気合いを入れました。



Q.タイタンメンバーもアクセント的に出演

キウ清水さんの演技が、清水さんにしかできないクセがあってすごかったです。こういう人いるんだろうな...という。宮地大介さんと初めてお会いしたのですが、お芝居がうま過ぎて。監督の要望通りにニュアンスを変えて、かなり勉強になりました。夜行バスで岐阜から帰る際、なぜか路線バスが来てしまい、東京まで吊り革を持って立ったまま帰ったそうです。可哀想すぎました。

Q.お気に入りのシーン

くんぴい子役のシーン、屋上で大暴れシーン、庵さんと共演シーン、クライマックスシーンがお気に入りです。

Q.くんぴいが「壊したい」モノ

103万円の壁... いや、すみません。

キングオブコント
決勝の壁です!!

